

★センターだより 第46号



東海医療学園総合臨床センター
TEL:0557-86-3000

辰年がやってきました♪

新年明けましておめでとうございます。
本年も当センターをよろしく願いいたします。

さて今年の干支・・・“辰”にちなんだ、お話をさせていただこうかと思ひます。

“辰”の本来の読み方は、「しん」で、「動いて伸びる」「整う」などの意味があり、新しい物・事が生まれてくる準備が整った状態を表しているそうです。また、元々は草木の形が整った状態を表していて、前年の“卯”は、草木が地面を蔽うようになった状態を表しているのので、“卯”から“辰”にかけて、生命の成長が表されているようです。

そして、中国で“辰”は、おめでたい印 吉兆として最高の文様で、権力の象徴でもあったそうです。

干支にも様々な由来や意味があり、大変興味深いですね♪



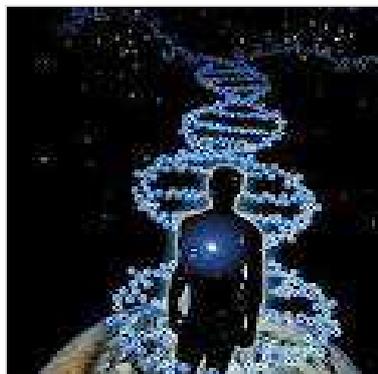
「はり」という名の遺伝子



新年明けましておめでとうございます。さて、唐突ですが“Acupuncture”（鍼）という名の遺伝子があることをご存知ですか？近年、鍼に関する研究が進み、治効メカニズムなど色々なことが分かってきました。こうした中、鍼によって「遺伝子のスイッチがONになる」という画期的な研究をしている科学者がいます。ギランバレー症候群という全身の筋肉が萎縮してしまう病気の患者さんに鍼治療を行ったところ、筋肉の増大がみられました。遺伝子解析の結果、鍼通電によりスイッチONとなった遺伝子が見つかったのです。そして、その

遺伝子の一つに“Acupuncture”と名付けました。筋肉が運動などによって壊れると、筋の中にあるサテライトセルという細胞の増殖のスイッチがONとなり、壊れた箇所を修復して筋が肥大します。つまり、鍼で筋肉を刺激するとサテライトセルが反応して増殖し、筋の肥大や修復が起こると考えられるのです。現代医学は今や遺伝子の時代。鍼の研究も遺伝子レベルで「何が起こったか」を証明できれば、エビデンス（科学的根拠）として示すことができます。今後の研究の進展を大いに期待したいと思います。

文・杉山誠一



◇ご挨拶◇

新年、あけましておめでとうございます。本年もよろしく願い致します。
ご来所くださる皆さまの健康維持・増進のため、スタッフ一同 全力で施術にあたらせていただきます。

スタッフ一同



◇1月の休診◇

28日～1月4日（冬季休暇）
8日
9日（成人式）
15日、22日、29日

杉山 誠一（すぎやま せいいち）

出身地：静岡県
東海医療学園専門学校 学校長
鍼、灸、あん摩・マッサージ指圧師
温泉入浴指導員

